

## 外国語活動 学習指導案

学校名	廿日市市立佐方小学校
指導者	T 1 外国語担当 太田 絢子
	T 2 A L T Stewart Rodney
	T 3 学級担任 加藤 葉子

1 日 時 平成30年11月16日(金) 13:40~14:25

2 学 年 第5学年2組 (34名)

3 単元名 She can run fast. He can jump high.

「友達の意外な一面, 大発見! 友達紹介カードを作ろう」

(We can1, Unit5)

4 単元について

- 本単元は、隣のクラスの友達についてやり取りし、その友達を他の人にも紹介するために「紹介カード」を作成することを最終ゴールとしている。その場に居ない友達を紹介するためには、三人称 (he/she) の表現について知る必要があり、三人称を学ぶに当たって、必然性を感じながら学ぶことができる。また、初めて三人称に出会う児童であることを考慮し、友達のできること (can)、できないこと (can't) を使って紹介することで、動詞変化を回避することができ、無理なく学ぶことができる。また、作成した「紹介カード」を掲示することで、「読むこと」への興味・関心を高めることにもつながる。

これらの活動を通して、自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問をしたり質問に答えたりして、伝え合う力(話すこと: やり取りウ)、自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書く力(書くことイ)を養う。

- 本学級の児童は、前時までに、新しく来られたA L Tの先生について知るために”What do you like?” を使って1対1でやり取りをしたり、クラスのお楽しみ会にA L Tの先生を呼び”What's this?” の表現を使ってクイズ大会をしたり、“Where do you want to go?” の表現を使って、平和公園の観光客とやり取りをしたりする経験を通して、英語でのやり取りに少しずつ自信をつけてきた。

9月20日に行ったアンケート調査では「小学校での英語の勉強は将来役に立つと思う」等、外国語の学習に対する意欲面に関する質問に肯定的に答えた児童が98%と多かった。

また、「英語でやり取りをする時には、会話が長くように知っている表現を使うようにしている」等、やり取りを続けることに関する質問に肯定的に答えた児童も98.5%と多かった。

しかし、「英語の文字(アルファベット)を読むことができる」「英語を書く時には、単語をなら

べる順番を考えながら書いている」という質問に肯定的に答えた児童は、それぞれ76%と64%であり、読んだり書いたりすることに慣れ親しむ経験が不足しており、書くことに自信が無いことも分かった。

アルファベットの読み書きの学習をする前に行った「書き写すこと」に関するレディネステストでは、文字の高さについては91%、形については89%の児童が正しく書くことができた。できなかった児童は、高さについては“g,j,k,M”，形については“h,k,n”等、線の長さの特徴があるものや、似ている別のアルファベット、大文字と小文字で混乱をしていることが分かった。字間については、64%の児童が語句と語句の間を空けずに詰めて書いたり、反対に語句を構成している1文字1文字のアルファベットの間を空けて書いたりしていた。「書くこと」はこの単元で初めて挑戦するため、アルファベットの書き取りや、英語の「語」や「文」としての捉え方に課題があり、書くことには慣れていない実態がある。

- 指導に当たっては、簡単な英語表現を使ってスモールトークを行ったり、児童のその時の気持ちや考えを生かしながらスモールステップでやり取りを入れたりしながら進めていく。やり取りを行う際は、既習表現の Do you like~? や, What ~ do you like?などを活用し、自分の力でその場で質問したり答えたりすることができるようになることを求めている。

書くことの指導においても、スモールステップで学習を進める。初めは音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現を書き写すところから始める。3時間目以降、Can you?を使ったやり取りを行い、やり取りで十分慣れ親しんだ表現を使って、自分の考えを書く活動を行う。

本時では、これまでに集めた隣のクラスの友達の情報を He, She を使ってやり取りし合う。次時の友達紹介カードに書く際に活用するために、友達とやり取りした内容の中から自分が紹介したい内容を選んで書かせる。紹介したい相手によって、He, She を選ばせ、更にその友達のできること、できないことを選ばせる。その際、書くことに慣れていない児童実態を考慮し、全文を書かせるのではなく、一部を絵カードで選ばせることで、児童が自ら思考しながら無理なく書くことができるようにする。

また、文字には名称のほかに音がある事に気付かせ慣れ親しませる。そのため、それぞれの文字で始まる単語の初頭音に意識を向けさせ、文字の音への気付きを促すことを目指す。このことが単語を類推して読む力へとつながる。

## 5 単元目標

- 【コ】・自分や第三者についてできること、できないことなどについて簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問をしたり、質問に答えたりして、伝え合おうとする。
- 【慣】・自分や第三者についてできること、できないことなどについて簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問をしたり、質問に答えたりして、伝え合う表現に慣れ親しむ。
- ・自分のことや第三者について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことに慣れ親しむ。
- 【気】・文字には音があることに気付く。

## 6 単元の評価規準

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語への慣れ親しみ	言語や文化に関する気付き
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分や第三者についてできること、できないことなどについて簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問をしたり、質問に答えたりして、伝え合おうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分や第三者についてできること、できないことなどについて簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問をしたり、質問に答えたりして、伝え合う表現に慣れ親しんでいる。</li> <li>・自分や第三者について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことに慣れ親しんでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文字には音があることに気付いている。</li> </ul>

## 7 単元ゴール

コミュニケーションの 目的・場面・状況	友達紹介カードを書くために、友だちのできることできないことをやり取りし合う。
<p>目指す発話例 (先生紹介)</p>	<p>A: Do you know ○○ kun?            B: Yes, I do.            A: He can play soccer very well.            B: That's nice!            A: Do you like soccer?            B: No, I don't.            A: Oh, I see. What sport do you like?            B: I like baseball. I can play baseball.            A: Oh, That's cool. How about you?            B: Thank you. Do you know ○○san?            A: Yes, I do.            B: She can play the piano.            A: Oh, that's nice. I can't play the piano.            B: I see. She can swim well. Can you swim?            A: Yes, I can. I can swim, too.            B: Great. She can't play soccer. Can you play soccer?            A: Yes, I can. I can play soccer.            B: That's cool.</p>

8 言語材料（下線は新出表現，語彙）

主な表現	主な語彙
<u>Can you (sing well)?</u> <u>Yes, I can. /No, I can't.</u> <u>[I/ You/ He/ She][can/ can't](sing well).</u> What~ do you like? I like~. I don't like~. Do you like~? Yes, I do. / No, I don't. Do you know~?	<u>動作</u> (play[the recorder/ the piano], ride a [bicycle/ unicycle], swim, skate, ski, cook, dance, run fast, jump high, sing well), can, can't, he, she, Mr., Ms., net, omlet [既出]スポーツ,動作,日課,not

9 関連する学習指導要領における領域別目標

話すこと 【やり取り】	ウ自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について，簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問したり質問に答えたりして，伝え合うことができるようにする。
書くこと	イ自分のことや身近で簡単な事柄について，例文を参考に，音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができるようにする。

10 単元計画（全6時間）

時	目標（◆）と主な活動（□，○）【 】＝誌面化されている活動	◎評価の観点＜方法＞
1	◆動作を表す語や「できる」「できない」という表現が分かる。 I can play the recorder well. I can't jump high. ◆アルファベットの文字の読み方には，名称のほかに音があることに気付く。 ○Small Talk:先生のできること・できないこと 【Let's Watch and Think1】 p.36 ・映像資料の映像なしに音声のみを聞いて，その人物が誰かを推測する。 【Let's play1】 p.34,35 ・指導者の話を聞いて，誌面のどの動物かを推測して答える。 【Let's chant】 Can you sing well?(オプション：I can run. I can swim.)p.35 【Jingle】 Animals Jingle p.39(p.77)	◎自分や第三者についてできること，できないことなどについて簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問をしたり，質問に答えたりして，伝え合う表現に慣れ親しんでいる。 ◎文字には音があることに気付いている。 ＜行動観察・振り返りカード点検＞
2	◆動作を表す語や「できる」「できない」という表現を聞いたり言ったりできる。 A: I can play soccer well. B: That's good. A: Can you play soccer well? B: Yes. / No.	◎自分や第三者についてできること，できないことなどについて簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問をしたり，質問に答えたり

	<p>A: Oh, you can / can't play soccer well.</p> <p>【Let's chant】 Can you sing well?(オプション：I can run. I can swim.)p.35</p> <p>【Let's Listen1】 p.36</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音声を聞いてどの動物かを考えて、イラストの下に番号を記入する。</li> </ul> <p>【Let's play2】 ポインティングゲーム p.37</p> <p>○Let's Talk</p> <p>○キーフレーズゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ I can~/ I can't~.を使って行う。</li> </ul> <p>【Jingle】 Animals Jingle p.39(p.77)</p> <p>○Sounds and Letters(アルファベットの小文字 7 文字)</p>	<p>して、伝え合う表現に慣れ親しんでいる。</p> <p>&lt;行動観察・振り返りカード点検&gt;</p>
3	<p>◆できることやできないことを含む短い話を聞いて、具体的な情報を聞き取ったり、できるかどうかを尋ねたり答えたりする。</p> <p>A: I like soccer. <u>I can</u> play soccer well. Do you like soccer?  B: No, I don't.  A: Oh, what sport do you like?  B: I like baseball. I can play baseball. Can you play baseball?  A: No, I can't. <u>I can't</u> play baseball.</p> <p>○Small Talk:好きなスポーツや趣味</p> <p>【Activity1】 p.37</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導者の質問に答えたり指導者と一緒に代表児童に尋ねたりする。</li> <li>・ペアでできることできないことを予想してたずね合う。</li> </ul> <p>【Let's Listen2】 Who am I?p.36</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音声を聞いてイラストにある動物の内どの動物のことかを考える。</li> </ul> <p>○デスティニー・ゲーム</p> <p>【Let's chant】 Can you sing well?(オプション：Can you sing well?)p.35</p> <p>○Let's Read and Write1</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・例を参考に、自分のできることやできないことを書き写す。</li> </ul> <p>【Jingle】 Animal Jingle p.39(p.77)</p> <p>○Sounds and Letters(ワードサーチ)</p>	<p>◎自分や第三者についてできること、できないことなどについて簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問をしたり、質問に答えたりして、伝え合う表現に慣れ親しんでいる。</p> <p>◎自分や第三者について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことに慣れ親しんでいる。&lt;行動観察・振り返りカード点検&gt;</p>
4	<p>◆第三者について、できることやできないことを尋ねたり答えたりし、語順を意識しながら簡単な表現を書き写す。</p> <p><u>She can</u> jump high.  He can play tennis very well.  She can't sing well.  <u>He can't</u> play the piano</p>	<p>◎自分や第三者についてできること、できないことなどについて簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問をしたり、質問に答えたり</p>

	<p>【Let's chant】 Can you sing well?(オプション： Can you sing well?)p.35</p> <p>○Small Talk:好きな有名人</p> <p>【Let's Watch and Think2】 p.38</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・映像を視聴して、誌面に○や△を書いたり、指導者の質問に答えたりする。</li> </ul> <p>【Activity2】 p.37</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友だちにあることについてできるかどうかを尋ね、できる場合は、イラストの下に名前を書いてもらう。</li> </ul> <p>○Let's Read and Write2</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・例を参考に動画の登場人物のできることできないことを書き写す。</li> </ul> <p>○Sounds and Letters</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アルファベットを見て、その音とその音で始まる動物を言う。</li> </ul>	<p>して、伝え合う表現に慣れ親しんでいる。</p> <p>◎自分や第三者について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことに慣れ親しんでいる。＜行動観察・振り返りカード点検＞</p>
5	<p>◆隣のクラスの友達についてできることやできないことを尋ねたり答えたりし、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>A: Do you know ○○ kun?</p> <p>B: Yes, I do.</p> <p>A: <u>He can</u> play soccer very well.</p> <p>B: That's nice!</p> <p>A: Do you like soccer?</p> <p>B: No, I don't.</p> <p>A: Oh, I see. What sport do you like?</p> <p>B: I like baseball. I can play baseball.</p> <p>A: Oh, That's cool. How about you?</p> <p>B: Thank you. Do you know ○○san?</p> <p>A: Yes, I do.</p> <p>B: <u>She can</u> play the piano.</p> <p>A: Oh, that's nice. I can't play the piano.</p> <p>B: I see. She can swim well. Can you swim?</p> <p>A: Yes, I can. I can swim, too.</p> <p>B: Great. She can't play soccer. Can you play soccer?</p> <p>A: Yes, I can. I can play soccer.</p> <p>B: That's cool.</p> </div> <p>○Small Talk:この人知ってる？紹介するよ！</p> <p>【Let's Chant】 Can you sing well?(オプション： Can you sing well?)p.35</p> <p>【Activity3】 p.37</p>	<p>◎自分や第三者についてできること、できないことなどについて簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問をしたり、質問に答えたりして、伝え合おうとしている。</p> <p>◎自分や第三者について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことに慣れ親しんでいる。＜行動観察・振り返りカード点検＞</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・隣のクラスの友達のできること、できないことについてやり取りする。</li> </ul> <p>○Let's Read and Write3</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・例を参考に、やりとりした内容をメモする。</li> </ul>	
6	<p>◆友達についてできることやできないことを伝え合い、紹介カードを書く。</p> <p>【Let's chant】 Can you sing well?(オプション： Can you sing well?)p.35</p> <p>【Let's Listen3】 p.40</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音声を聞いて、どの人物かを考え、人物の写真の下に番号を記入する。</li> </ul> <p>【Activity4】 p.40</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>A: Do you know ○○ kun?</p> <p>B: Yes, I do.</p> <p>A: <u>He can</u> play soccer very well.</p> <p>B: That's nice!</p> <p>A: Do you like soccer?</p> <p>B: No, I don't.</p> <p>A: Oh, I see. What sport do you like?</p> <p>B: I like baseball. I can play baseball.</p> <p>A: Oh, That's cool. How about you?</p> <p>B: Thank you. Do you know ○○san?</p> <p>A: Yes, I do.</p> <p>B: <u>She can</u> play the piano.</p> <p>A: Oh, that's nice. I can't play the piano.</p> <p>B: I see. She can swim well. Can you swim?</p> <p>A: Yes, I can. I can swim, too.</p> <p>B: Great. She can't play soccer. Can you play soccer?</p> <p>A: Yes, I can. I can play soccer.</p> <p>B: That's cool.</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達とやり取りし、紹介する内容を決め、紹介カードに書く。</li> </ul> <p>【Jingle】 Animal Jingle p.39(p.77)</p> <p>○Sounds and Letters</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アルファベットを見て、その音とその音で始まる動物を言う。</li> </ul>	<p>◎自分や第三者についてできること、できないことなどについて簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問をしたり、質問に答えたりして、伝え合おうとしている。</p> <p>◎自分や第三者について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことに慣れ親しんでいる。</p> <p>&lt;行動観察・振り返りカード点検&gt;</p>

1 1 本時の展開

(1) 目標

- ・隣のクラスの友達について、できることやできないことを尋ねたり答えたりし、例文を参考に、

音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書く。

(2) 評価規準

【コ】・自分や第三者についてできること、できないことなどについて簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問をしたり、質問に答えたりして、伝え合おうとしている。

【慣】・自分や第三者について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことに慣れ親しんでいる。

(3) 準備物

児童用テキスト、ワークシート、デジタル教材、振り返りカード

(4) 展開(5/6)

13:40 授業開始		○指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
1 挨拶をする。 ・教師とのやり取りをしながら、既習事項に慣れ親しむ。	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。</li> <li>・この日は(11/16 小島よしお)の誕生日。</li> <li>・T1は、What's the date?から、バースデークイズに話題を広げ、一方的に話すのではなく、児童やT3やALTを会話に巻き込みながら話す。</li> </ul>	PP
<p>T1: What's the date? SS: It's November 16th. T1: That's right. Today is the birthday of Japanese comedian. Who is he? Hint1. He can play baseball very well. (T1は、T3、SSに Can you play baseball?と質問する。T3は、答える時に、Yes/ No, I can/ can't. I can/ can't play baseball.と2文で答え、児童の手本となる。それを聞いたALTは、He/ She can/ can't play baseball.と言い換え、児童もRepeatする。) Hint2. He can do Yoga. (T1は、T3、SSに Can you do Yoga?と質問する。T3は、答える時に、Yes/ No, I can/ can't. I can/ can't do Yoga.と2文で答え、児童の手本となる。それを聞いたALTは、He/ She can/ can't do Yoga.と言い換え、児童もRepeatする。) Hint3. He can speak in loud voice. He is a famous Japanese comedian. Who is he? That's right. He is Kojima Yoshio. ○○san good job!</p>			
13:43 本時のめあて確認			
2 本時のめあてを確認する。 ・自分だけが知っている隣のクラスの友だちの意外な一面をやり取りして伝え合い紹介カードに書く内容を絞ることを知る。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時のめあてと流れを、児童と共に確認する。</li> <li>・今日は、「自分だけ」が知っている友達の意外な一面をクラスの友達に、He/ She can/ can't~. を使ってお互いに伝え合うことを押さえる。</li> <li>・自己紹介カードは校内に掲示して保護者や友だち、クラスで交換して見合ったりする。何をカードに書きたい?と問いかけ、児童から、「意外なこと」「おもしろい」「驚くこと」等、やり取りによって書く内容をしぼることを押さえる。</li> </ul>	



		<ul style="list-style-type: none"> <li>・そのためにやり取りにどんな工夫が必要かを問い、「反応」「質問」等というキーワードを出させる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">       友だちとやり取りをし、友達紹介カードに書く内容をメモに書こう。     </div>	
13:45 スモールトーク開始			
3 O Small Talk: この人知っていますか? ・指導者の話を、反応を示したり、質問について考えたり答えたりしながら聞いたり、答えたりする。	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ALT に、can, can't の発音の仕方とジェスチャーを確認してもらい、これから T1 も T3 もそれに気を付けてやり取りをやってみることを伝える。</li> <li>・児童のやり取りの例を示すことを、日本語ではっきりと伝え、先生のやり取りのいいところを見つけるよう指示する。</li> <li>・校内の先生について、できること・できないことを紹介し、児童のやり取りにつなげる。</li> <li>・児童がやり取りをする際のヒントになるよう、知っているか、できることや、できないことだけでなく、自分はどうか、好きかどうかなどを含めて、反応をしっかりとしながら、話すようにする。</li> </ul> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>Small Talk の例</p> <p>T1: Do you know Ikeda kyotosensei?        T3: Yes, I do.        T1: I can run fast, but she can't run fast.        T3: Oh, I see.        T1: Oh, she can play soccer!        T3: Oh, really? That's good.        T1: Yes. Do you like ski?        T3: No, I don't.        T1: Oh, I see. She can ski very well!        T3: That's cool.        T1: How about you? (すごくゆっくり)        T3: Do you know Mr. Hosako?        T1: Yes, I do.        T3: What game do you like?        T1: I like Othello.        T3: Oh, that's good. I can't play Othello. (自分を指差しながら) But, He can play Othello very well.        T1: That's nice.        T3: Oh, he can cook gyoza.        T1: Really? That's nice.</p>	デジタル教材

	<p>T3: Can you cook gyoza?  T1: No, I can't. I can't cook gyoza. Can you cook?  T3: No, I can't.  T1: Oh, one more thing! He can't draw a picture.</p>	
<p>13:48 スモールトークの気付き</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会話の始めは、既習事項の Do you know? Yes, I do.で始まっていること、交代する時は、How about you?を使っていることなどに気付く。</li> <li>・会話の中のよさを挙げさせる。</li> <li>・会話の始めは、既習事項の Do you know? Yes, I do.で始まり、How about you?等を使っていることに気付かせる。</li> <li>・自分ができるかどうかを言ったり、相手ができるかどうかをたずねたり、反応、ジェスチャーをしたりして、会話をしていたことに気付かせる。</li> <li>・PPに既習事項を提示しておき、やり取りの最中に確認できるようにしておく。</li> </ul>	
<p>13:53 やり取り開始</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・隣のクラスの友達ができること、できないことを既習事項を使いながらやり取りし合う。</li> <li>・回転寿司 Bで行う。</li> </ul> <p>&lt;やり取りの仕方&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メモをしているワークシートを使って行う。</li> </ul> <p>A: Do you know ○○kun?  B: Yes, I do.  A: <u>He can</u> play soccer very well.  B: That's nice!  A: Do you like soccer?  B: No, I don't.  A: Oh, I see. What sport do you like?  B: I like baseball. I can play baseball.  A: Oh, That's cool. How about you?  B: Do you know ○○san?  A: Yes, I do.  B: <u>She can't</u> play the piano. Can you play the piano?</p>	<p>デジタル 教材 児童用 テキスト ワーク シート</p>

		<p>A: Yes, I can. I can play the piano.  B: That's good. <u>She can play soccer.</u>  A: Oh, really? That's good.  B: Can you play soccer?  A: Yes, I can. I can play soccer.  B: That's cool.</p> <p>◎自分や第三者についてできること、できないことなどについて簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問をしたり、質問に答えたりして、伝え合おうとしている。＜行動観察・振り返りカード点検＞</p>	
<p>14:03 書き方確認</p>			
<p>4. ○Let's Read and Write</p> <p>・友達とやり取りした情報を整理し、友達紹介カードに書く内容をワークシートに書く。</p>	<p>12</p>	<p>T3: Can you play basketball? (Anna)  S1: Yes, I can. I can play basketball.  ALT: She can play basketball.  SS: She can play basketball.  T1: Please pick up the cards, and stuck.  S2:( カードを貼り付ける)  T1: Thank you!  T3: Can you cook? (Yuki)  S3: No, I can't. I can't cook.  ALT: He can't cook.  SS: He can't cook.  T1: Please pick up the cards, and stuck.  S4:( カードを貼り付ける)  T1: Thank you. Please look!  (と言い、読みながら書く)  shecan play basketball.  (わざと s を小文字にし、字間をつめて書く)  SS: She の s は大文字です。  SS: She と can の間はあけて書かないと読み方が変になります。  T1: Oh, thank you.(と言い、読みながら直す)  Look! 今度は大丈夫! (と言い、読みながら書く)  He canl cook. (´を忘れ、t の横棒を忘れる)  SS: ´が無いです。  SS: t がおかしいです。  T1: Oh, thank you.(と言い、読みながら直す)</p>	<p>デジタル教材  4 線ホワイトボード  ワークシート  児童用カード  (動作) テープ</p>

<p>14:10 書き始め</p>		<p>それでは、今度はみんなの番！友だちの紹介カードに書きたい内容を、メモに書こう！          (と言いながら、WSを素早く配る)          T1: PPを見せながら、書き方を押さえる。          声に出して読みながら書こう。          SS: (書く。)          ◎自分や第三者について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことに慣れ親しんでいる。&lt;行動観察・振り返りカード点検&gt;</p>	
<p>5・本時の活動を振り返る。振り返りカードを記入する。          ・挨拶をする。</p>	<p>5</p>	<p>・本時のねらいに照らして児童を称賛する。          ・挨拶をする。</p>	<p>振り返りカード</p>

12 板書例



1.3 振り返りカード（ワークシート）

WCI. She can run fast. He can jump high. 友達の名前を一言大発見！友達紹介カードを作ろう！

( 月 日 曜日)

Name

<友達の名前>

くん・さん

1. 友達紹介カードに書きたいことを、文字の高さなどに気を付けて、例を参考にして書きましょう。

(例)

She can play basketball.



(例)

He can't cook.



動詞のカードを挿んで置こう！

Blank handwriting practice area with three sets of dashed boxes for verb cards and horizontal lines for text.

..

Horizontal lines for writing.

Dashed box for writing.

Horizontal lines for writing.

..

Horizontal lines for writing.

Dashed box for writing.

Horizontal lines for writing.

..

Horizontal lines for writing.

Dashed box for writing.

Horizontal lines for writing.

..

Horizontal lines for writing.

Dashed box for writing.

Horizontal lines for writing.

..

<ふり返り>

①What「何がある - 何か なに」の表現に答える	②「である - である ない」と関係	③であるかどうかを たずねよう	④自分以外の人 について	⑤ただものセン トもがワト	⑥Cool 本題紹介 カード完成!	
ふり返りポイント			よくできた	できた	もうゆし	もっと
1 本館が様子内容を聞きました。						
2 「である - である(ない)」を、本館もよばせました。						
3 Can you? (Do you like? What do you like?) を使 て、質問しながらやり取りした。			できた		/	
4 Ma, too/や Nice などの表現を使って反応した。			できた			

【調】やり取りしたり、友達紹介について書いたりして、気づいたこと...

Four horizontal dashed lines for writing.

1.4 紹介カード (A4)

We Can! She can run fast. He can jump high.

Hello, my friends!↵



My friend's name

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

My name

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

ヒントカードに書いてあるものを参考にしてください

👉 Hint Box 👈

 play soccer	 play baseball	 play badminton	 play table tennis	 play the piano
 play the recorder	 ride a unicycle	 swim	 skate	 ski
 do kendo	 do judo	 play shogi	 play kendama	
 run fast	 cook	 jump high	 play basketball	
 sing well	 play volleyball	 play baseball		
 play badminton	 play table tennis	 do judo		